

# まちがと

## 来年こそは、全国制覇！

町に報告<9/5>

愛媛県松山市で8月に開かれた第14回俳句甲子園で幸田高校書道文芸部が準優勝したことを町に報告に訪れました。決勝で東京都の開成高校に惜しくも敗れましたが、幸田高校はこの大会に10年連続出場し、4年前と同じ過去最高成績。2年生でチームリーダーの西橋さんは、「来年こそは優勝します！」と力強く語ってくれました。



▲全国大会で準優勝した書道文芸部



▲楽しく覚えて、地球にもやさしい♪

## すごろくで楽しくエコを学ぼう！

環境学習講座<9/8>

環境カウンセラーの浅野智恵美氏を講師として招き、中央小学校4年生を対象に「エコライフすごろく」を使って環境学習講座を実施しました。

一人一人が毎日の暮らしの中でできることを、ゲーム感覚で楽しく学びました。家族みんなでエコライフを楽しみましょう。

## 長生きの秘訣は…

高齢者訪問<9/14>

敬老の日を前に、町内の98歳以上の高齢者12人のお宅を町長らが訪問し、記念品や祝い品を手渡しました。長嶺区の山本まつ（99歳）さんに長生きの秘訣を聞いてみると、「おもしろい話をキャーキャー言いながら話して過ごすのが楽しいじゃないかねえ。」と笑顔で話してくれました。



▲町長から記念品を受け取る山本さん



▲「好き嫌がなく、何でもおいしく食べますよ」と話してくれた100歳の池田はなさん

## 町政のさらなる充実を願って！

事業仕分け提言書提出<9/14>

幸田町事業仕分け委員会から、7月に実施した事業仕分けの判定結果をもとにまとめた「提言書」が提出されました。委員会の黒柳孝夫委員長は「町民目線を大きく反映したこの提言が、町政の充実にも寄与されれば」と話しました。町はこの提言を、来年度以降の予算や事業展開に極力反映させていく方針です。また事業仕分けは来年度も実施していく予定です。\*この提言書は町ホームページでご覧いただけます。



▲提言書を町長に渡す、黒柳孝夫委員長(中央)と紺谷和夫副委員長(右)

身近な情報を広報へ

## 被災地のために自分たちができること！

道の駅で竹炭販売<9/15>

坂崎小学校の6年生28人が、手作りの竹炭や竹酢液を道の駅「筆柿の里・幸田」で販売しました。

竹炭は、7月に学区内の小野隆さんが管理する山から竹を分けてもらい、学校の釜で自分たちで焼きました。児童たちは、東日本大震災被災地のためにできることを自分たちで考え今回の活動を実行し、この日の売上金25,675円を被災地への義援金として全額を寄付しました。



▲「竹炭には消臭効果がありまーす！安いですよー！」

## 幸田町の代表選手が決まりました！ 愛知駅伝町代表選考会<9/23>

12月3日開催予定の、愛知万博メモリアル第6回市町村対抗駅伝へ幸田町代表として出場する選手を決める、選考会が幸田中央公園で126人の参加で行われました。各部門の選考選手は次のとおりです。(敬称略)小学生男子：金澤克明・山本佳温、小学生女子：澤田桃香・難波佑衣、中学生男子：渡邊康介・山本航也、中学生女子：田口友喜子・山本菜月、ジュニア男子：平岩篤弥・鈴木太基、ジュニア女子：稲吉見咲、鈴木千恵、一般男子：油井一成、近藤高弘、一般女子：中島真由美・小山莉加、40歳以上：村越好晴・渡辺義文



▲小学生男子



▲一般男子・40歳以上

## 椿の実が、次のイベントのみなもと！

椿の実拾い<9/27>

里保育園の園児41人と母の会が、深溝本光寺の椿園で、ゲームを交えながら楽しく椿の実拾いを行いました。拾った実は西尾市幡豆町の椿油採油者に販売し、母の会の運営費となりました。これらの運営費をもとに園児たちがまた楽しい母の会イベントを体験できます。



▲椿についてお話を聞いたよ♪



▲そのあと、楽しく拾いました♪



▲とっても簡単、でも奥が深い！

## 誰でもできるスポーツです！

やろまいペタンク大会<10/1>

幸田中央公園で第7回やろまいペタンク大会が開催されました。ペタンクは、目標に向かって金属球を投げ合い、相手よりも近付けることを競うスポーツです。勝敗が体力や筋力に関係ないため、フランスでは老若男女に広く親しまれています。今回は22チーム66人の参加がありました。大会結果は次のとおりです。

優勝 荻C 準優勝 岩堀朋友会A  
3位 岩堀南部A 4位 幸寿会B

フォトニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX(03)5130

広報直通ダイヤル(03)5132